

第9章 集落の整備

1 現況と問題点

高崎地域の集落形態は、従来からの農業を基盤とした自然集落であるが、近年、非農家との混住化が進むとともに、過疎化の進行は高崎地域の中心部から遠隔地になるほど高くなっており、集落機能の低下が懸念される場所である。また、農家と非農家の混住化の進行により、農業を取り巻く環境は年々厳しくなっている。

今後は、若年層を中心とした人口の流出を防止するため、幹線道路網の整備と基幹集落における若者向け住宅の整備などの公共施設の整備を進める必要がある。

2 その対策

- ・集落機能の強化を図るため、各種公共施設の配置や再整備を推進し、自治公民館組織の育成強化を図る。
- ・集落の活性化に当たって、集落住民が集落の現状と課題を地域の課題として捉えることが重要であるため、地域住民による集落点検や実態調査を推進する。
- ・若者を中心とした定住化対策として、住宅整備などの体制づくりを推進する。
- ・高崎地域の基幹産業である農業振興のため、就農者の居住環境の改善を図る施策を推進する。
- ・空き家情報の提供などによりU・J・Iターン者を積極的に受け入れる体制づくりを推進する。

事業計画（平成22年度～27年度）

自立促進施策 区分	事業名 (施設名)	事業内容	事業主体	備考
8 集落の整備	(3) その他	(その他)		
		中山間集落点検モデル事業	市	

